

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 3 月 26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200388		
法人名	医療法人社団たくみ会きむらクリニック		
事業所名	安芸ひまわり		
所在地	広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話) 082-821-2525		
自己評価作成日	平成30年2月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473200388-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473200388-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年3月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

クリニックが経営しているので、医療、薬剤的にバックアップ体制が整っている。
---------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、商業施設が立ち並ぶ便利な場所から、一步入った静か住宅地にある3階建の2ユニットを運営しており、近くには福祉センターも有る。施設長は管理者も兼務し、開設当初より関わり、常に職員や家族の意見を尊重し、運営や環境整備等を行いサービスの向上に努めている。施設のインフラに関しても、屋上を利用し使い易く広い畑を設け、夏には2か所（宇品、海田）の花火大会を家族を交えながら楽しんでいる。また建物の玄関入り口の一部を、小学校の通学待合場所として提供し、毎朝利用者が児童と挨拶を交わす楽しみがあり、事業所は地域と繋がるための努力がされている。更に運営母体が医療法人である事を活用しながら、利用者の健康管理には気配りを怠らず、かかりつけ薬局とも連携しながら、心身ともに手厚い支援を行っている。
--

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	地域の人たちとの交流を通して、地域の一員として暮らしていけるように、支えていくことを、ミーティングや掲示により確認して、実践している。	事業所は法人理念に基づき目標を定め、毎年各ユニットのリーダーは職員の意見を聞き取り会議に於いて管理者と見直しについて検討し、利用者に寄り添った支援・地域と共に暮らせる事を掲げ、日々の支援に活かせる取り組みがされている。職員は利用者が、その人らしく暮らせるよう実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の人たちとの挨拶、お話、声かけをしたり、祭りなどの行事の参加やボランティアの受入れをしながら、交流している。地元の中学生の職場体験を受け入れている。事業所の駐車場を小学生の朝の通学待合場所としている。	地域（町内会に加入）の祭りに参加したり、神輿や鬼が来て利用者と一緒に写真を撮る等、地域と交流している。また事業所内の多目的ホールを提供している。近くにある社会福祉センターのイベント等に出掛けたり、地域のボランティアや幼稚園児が来所したり、地域と途切れない交流を支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で説明し、理解をしてもらいながら、地域の行事の参加、学生などのボランティアとの交流をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議で事業所での近況を報告し、悩み事を相談したり、出席者との意見交換し、事業所のミーティングで検討、対応をしている。	会議は2か月に1度定期的に行われている。参加者は必要な関係者と家族代表が出席しているが、出席者は毎回同じメンバーが多い。例えば曜日を変更したり、ミニ講習会（車イスの使い方）と併せて、近隣住民の出席を促すなど、アイデアを出しながら更なるサービス向上に期待したい。	会議への参加者は、利用者や家族、事業所が主軸となって取り組む事が大切であるが、限られた家族（家族代表）のみ出席している。今後は様々な困難な状況は有るが、遠方の家族に会議録を送付し、取組み状況を知って貰ったり、出席メンバーの見直しも含め、更なる取組みに期待したい。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	管理者が町の担当者を訪問したり、町の担当者が運営推進会議の出席により、意見交換をし情報交換をしている。	日頃から報告事項や相談事が有れば、市町と連絡を取っている。研修の案内が有れば、積極的に参加するなど、協力関係を築く努力はされている。また地域包括センターの担当者に、運営推進会議に参加してもらい、更には市町から講演講師その他の依頼が有れば、地域貢献として受け入れる体制はある。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関することは、ミーティングや資料の回覧、研修で確認をして理解するようにしている。その日のリーダーが注意を払って、しないよう努めている。玄関の施錠は、状況に応じて対応している。	玄関入り口は防犯のため、家族や市町からの要望で施錠している。夜間は全ての居室にナースコールがあり、見守りを重視しながら支援している。職員は言葉の拘束を始め身体拘束や虐待しないケアを、研修やミーティングを通して理解し、実践に繋げる取り組みを行っている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関することは、ミーティングや資料の回覧、研修で確認をして理解するようにしている。その日のリーダーが注意を払って、防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ミーティングや資料の回覧、研修で確認をして理解するようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結は、重要事項説明書を説明をして、ご家族が納得して、サインをしてもらっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	随時、担当の職員が管理者が話し合いの機会を設け、対応している。町や国保連の連絡先は、契約書や掲示に表示してある。運営推進会議でもご家族との話し合いをしている。	家族から来所時等に意見を求める機会には設けている。事業所は運営推進会議を利用したり、遠方の家族へは定期的に手紙等で、身近な出来事を知らせたり、意見を求める努力はされている。事業所は家族の意見（不審者用に玄関前へ防犯カメラの設置）を受け取り、検討しながら反映させている。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は週一回の事業者訪問をしている。管理者は、いつでも話し合いの機会を設けて対応している。各ユニットにはリーダーを配置している。</p>	<p>事業所は働き易い環境を作る為、職員からの意見は会議の場のみでは無く、個人面談や様々な場面で（資格取得、働き方等）行っている。また職員から運営に関する要望（トイレの修繕・二重窓へ変更）があれば、話し合いを重ね必要に応じて反映させるよう取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の実績、勤務状況に応じて、業務担当を決めたり、責任を持たせたりして、それらを給与に反映している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会をみて研修会に参加させたり、資料の回覧をしたり、社内のミーティング時に研修会を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の福祉関係事業所や医師会、グループホーム協会との交流があり、情報交換をしている。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人から意見を聴いたり、問いかけたりにして、理解、納得できるように説明しながら対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族から意見を聴いたり、問いかけたりして、理解、納得できるように説明しながら対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族から状況、要望を聴いて、今必要としているサービスを検討し、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は本人と一方的な関係性にならないように、お互いが理解し、支えていき、信頼関係を築いていくように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員と家族がお互いに相談しあえる関係を築きながら、共に支えていくように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	機会をみて、馴染みの人に連絡し、面会に来てもらったり、法事やお墓参りなどに行ったり、親戚などに訪問したりしている。	面会時間はあるが、それ以外でも自由に来訪する家族もいる。家族の協力で馴染みの美容院に出掛けたり、たまに近くの社会福祉センターでイベント等があれば職員と共に出席している。また毎日小学校の児童が、玄関先に登校のため集合し、利用者は毎朝挨拶を交わし馴染みの関係が出来ている。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>いろいろな趣味や習い事、行事を通して交流し、利用者同士の関係を築いている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>必要に応じて、利用者や家族とは連絡を取り合ったり、面会したりしている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の要望に出来るだけ沿うように心掛けて対応している。家族にも相談しながら進めていくこともある。</p>	<p>利用者の意向を把握するため、家族から話を聞き取り、日々の暮らしに役立てよう努めている。希望の把握は申し送りノートや話し合いで確認し、例えばパン食の希望があり、朝食時に提供する等、利用者のニーズに合ったサービスが提供出来る様に努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>今まで暮らしてきた環境、利用したサービスを考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>本人の状況をみながら、本人の出来るところ、支えていくところを判断しながら進めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人と家族の意見を取り入れ、管理者、ケアマネージャー、リーダーと相談し、ミーティングで検討し、現状を踏まえ介護計画に反映している。時には、主治医、薬剤師にも相談している。</p>	<p>利用者がより良く生活する為に、利用者や家族の要望を把握し、モニタリングは3か月に1度、また必要に応じて行い、無理をした計画を立てないように作成している。職員は話し合いを行い介護計画を常に確認し、情報を共有しながら現状に即した支援を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子などは本人の記録に記入しており、職員間で情報共有して、ケアマネージャーの介護計画に反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今までの本人や家族の環境、現在の状況に応じて、ミーティングで検討して、いろいろなサービスを選択して支援を進めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域の方々や民生委員、ボランティアの協力をえながら、支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の要望を取り入れて、かかりつけ医、主治医と事業所との信頼関係を築きながら、治療を受けている。必要があれば、他の医療機関の治療を受けて頂くこともある。</p>	<p>運営母体は内科・外科・皮膚科・歯科・他科が有る医療機関で協力医は認知症への理解が深い。往診は週1回定期的に行われ、24時間体制で有事での対応も確保されている。訪問看護も病院から朝夕健康管理に訪れ、また口腔ケアは月に1度行われ、薬剤師も毎週金曜日に訪問し手厚い支援が確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員はいつでも看護師との相談ができ、必要があれば、いつでも受診や訪問看護を受けられるようにしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	いつでも対応ができるように情報交換をしていて、地域の医療機関との連携に努めている。医師会の協力を得ている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人や家族の意向に沿うように、主治医、薬剤師と相談しながら、職員同士で情報共有して重度化や終末期の支援に取り組んでいる。過去にも何度か看取りに対応している。	入所時に家族等に説明は行われている。同事業所は看取りの経験があり、重度化した場合改めて家族と話し合いを行い同意書を交わし、方針を共有しながら支援する体制がある。緊急時対応に備え、連絡方法は事務所に掲示している。職員は医師、看護師の指示の下、チームで支援出来るよう取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	ミーティングで各利用者の情報を共有して、基本的なマニュアルを作成して取り組んでいる。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防職員との協力により避難訓練を実施したり、運営推進会議で地域の関係者の方々に協力をお願いしている。地域の住民にも一緒に避難訓練に参加したこともある。	年2回の消防訓練は夜間を含め、風水害など色いろなパターンを想定しながら行っている。また地域と共に訓練を行っており協力体制は確保されている。事業所はハザードマップで位置付けも確認し、3階に利用者を誘導する事になっている。備蓄も3日分確保してあり、職員は定期的に研修を受けている。	



自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	今までの環境、現在の状況を考慮し、一人ひとりにあった対応をして、失礼のない目上に対する丁寧な言葉で声かけをしている。	利用者の人格を把握するために、一人ひとりの生活歴を知る事が大切で、言葉かけも含め日々の支援に努めている。職員は話し合いの中で、プライバシーについての対応や記録の書き方にも気配りしながら、情報を共有しサービスに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声かけや誘導をしたりして、自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの日々の状況を把握して、本人のしたいように、意向に沿うように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員が出来ることは対応し、美容院の方にも訪問して散髪などしてもらっている。身だしなみやおしゃれについてアドバイスをしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	家族にも好みなど相談しながら、出来る限り一人ひとりの好みに合うように工夫して調理をし、たまには職員と一緒に準備や片付けをしている。	日常の食事は、朝夕は職員が作り、昼食は配食を利用している。希望があれば利用者も買い物に出掛け、食事の手伝いも茶碗ふきなど行っている。たまには屋上でバーベキューを家族と共に楽しんだり、平素は生魚はメニューに取り入れれないので、回転ずしに出掛けお酒をたしなむ利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの毎食の記録を見れば状況が把握できるようにしており、状況をみながら対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり歯磨きをしており、定期的に歯科医師にも訪問して、指導してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日々の状況、排泄記録をみて、定期的に声かけをし、トイレ誘導をして排泄をしてもらい、失敗やおむつの使用を減らすように支援をしている。</p>	<p>排泄記録を基に、利用者個々の状態にあった支援を行っており、夜間も排泄パターンを把握し、オムツ交換の頻度を減らして家族に喜ばれている。トイレは男性用トイレを併設し、潜在的な機能を保つ取り組みがある。排便も毎朝ヨーグルトを摂取し、食事との関係も思案しながら、自立に向けた支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況をみながら、食事の改善や運動の取り入れをしている。場合によっては、主治医や薬剤師にも相談をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応の入浴日を決めているが、一人ひとりの状況、体調をみて、希望があればいつでも入浴、シャワー、足浴をして対応している。</p>	<p>入浴は基本的には週2～3回行っているが、希望があれば入浴回数を増やすなど対応している。家族の希望で専用のシャンプーを使用する利用者もいる。状態が重く通常の入浴が困難な利用者は、職員が二人対応しながら入浴を楽しんでもらうなど、個々に応じた支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一応の昼寝の時間を設けている が、一人ひとりの状況をみなが ら、いつでも休んだりしてもら っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>一人ひとりの薬についての資料 が薬局から届いており、それら を理解して、服薬をしている。 何かあればいつでも薬剤師に 相談できるようにしている。週 一回、薬剤師に来てもらって いる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>今までの暮らしの環境を考慮し て、役割を担当してもらったり 、習い事や趣味を楽しんでもら ったり、時には外出して買い物 をしてもらっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>一人ひとりの意向に沿って、散 歩や買い物をしたり、公園で食 事をしたり、法事やお墓参りに 行ったりしている。場合によっ ては、家族やボランティアに協 力してもらいながら対応してい る。</p>	<p>天気が良い日は、買い物や近 くへ散歩に出掛け、季節には お弁当持参で、近隣の総合公園 に出掛けたり、近くの社会福 祉センターのイベントに出掛け る等している。外出が困難な利 用者には、屋上で花火大会を楽 しんで貰う等、職員は工夫しな がら出かけられるよう支援し ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>家族との相談によりますが、一 緒にコンビニやスーパーに買い 物に行き、お金を使っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族との相談によりますが、希望があれば、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りが出来るように対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに部屋の模様替えをしたり、入居者の作品を飾ったり、写真をはったり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作るように心掛けている。</p>	<p>リビングは利用者と職員が共に掃除をしたり、季節の花や作品を飾っている。廊下の突き当たりのソファは、利用者が歩行の休憩場所として利用している。利用者の中に熱烈なカープファンがいて、テレビ観戦で場が盛り上がる事も有る。職員は楽しくまた居心地よく暮らせる様、常に気配りしながら支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング、多目的ホール、応接室、屋上など、いつでも自由に使って過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人や家族の意向に沿って、馴染みの家具や備品、写真などをもってきてもらい、自由に置いたり、飾ったりして過ごしやすいようにしている。</p>	<p>居室の入り口には、色分けされたプレートが利用者が確認し易いように工夫されている。1階の全ての居室は、小さな中庭が望め掃き出し窓から外に出られるようになっている。窓はL字に2か所あり明るい。部屋にはベッドや洗面台、クローゼットが備え付けてあり、必要時には家族が宿泊する事も有る。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリーに対応しており、廊下やトイレに手すりがあり、車いすや歩行器、歩行練習をする機器があり、いつでも自由に使えるようにしている。</p>		

V アウトカム項目( 1 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム安芸ひまわり

作成日 平成30年4月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の出席者が同じで変わらないので、同じような内容になる。	活発な議論にする。	職種を問わず、いろいろな方々に出席してもらい情報交換をする。	1 2 か月
2	2	町内の方々との交流が少ない。	町内の方々との交流機会を増やす。	町内会の行事参加、地域の散歩、地域の子どもの交流をする。	1 2 か月
3	13	災害時の避難等が確立していない。	災害時の避難計画等のマニュアルを作成し、共有する。	火災避難訓練とは別に災害（水害、地震等）の訓練をする。	1 2 か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。